

③『全国学力・学習状況調査』（児童生徒質問紙調査）

※（ ）内は、令和4年度の結果

質問項目	学校種	筑前町	全国
挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等			
自分には、よいところがあると思いますか 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んだ割合	小学校	80.8(73.9)	83.5(79.3)
	中学校	84.1(74.0)	80.0(78.5)
将来の夢や目標を持っていますか 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んだ割合	小学校	81.8(76.7)	81.5(79.8)
	中学校	75.5(70.0)	66.3(67.3)
学校に行くのは楽しいと思いますか 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んだ割合	小学校	88.6(87.9)	85.3(85.4)
	中学校	75.9(81.3)	81.8(82.9)
学習習慣、学習環境等			
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか（学校の授業の予習や復習を含む） 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んだ割合	小学校	61.1(68.1)	70.7(71.1)
	中学校	53.1(52.2)	55.0(58.5)
学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾や家庭教師、インターネットの活用も含む） 「3時間以上」「2時間～3時間」「1時間～2時間」を選んだ割合	小学校	42.2(43.2)	57.1(59.4)
	中学校	48.5(53.1)	65.8(69.5)
ICTを活用した学習状況			
授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか 「ほぼ毎日」「週3回以上」を選んだ割合	小学校	38.5(52.2)	62.4(58.2)
	中学校	45.8(30.5)	61.1(50.9)
主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況			
学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか 「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を選んだ割合	小学校	77.1(71.6)	77.4(78.2)
	中学校	71.0(75.2)	69.2(74.7)

※赤字は、昨年度より全国との差が縮小したり、さらに拡大したりして向上したものの

- ▼算数・数学の基礎・基本の徹底
- ▼個に応じたきめ細かな指導の充実
- ▼A・ドリルなどを活用した効果的な宿題の充実
- ▼外国語担当教員の研修の実施、町の英語力向上事業の事前・事後の取組の充実
- ▼学校の教育活動や町の施策の効果の検証と改善

今後の方策

小学校の取組の成果 みんなで！継続！徹底！

小学校第6学年は、国語、算数とも、はじめて全国を上回りました。全ての学年の先生方が、それぞれの実態に応じた取組を、全ての子どもが「わかった！できた！」と実感できるようにしたいと熱意を持って続けたことが、学力の向上に結び付きました。

中学校においても、「読み取る力」や「書く力」「自分の考えを表現する力」「粘り強く取り組む力」など、どの教科においても求められる学力を日常の各教科の授業で育むとともに、宿題や補充学習等を工夫し、生徒がわかるまで丁寧な指導を粘り強く行うことが大切です。

効果がみられた学校の取組



授業では、全員の児童に説明した後、個別にわかるまで丁寧な指導が行われています。



先生がわかるまで指導する学級は、わからないことをお互いに教え合う支持的風土が育っています。



補充学習では、先生のアドバイスの下、習熟度に応じた問題にわかるまで取り組んでいます。

令和5年度 全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査の結果

図教育課 ☎ 22-3385

令和5年度の全国学力・学習状況調査、福岡県学力調査における筑前町の結果をお知らせします。これらの調査の目的は、児童生徒一人一人の学力や学習状況を把握、分析して、教育施策の成果と課題を検証し、児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることです。

全国と県独自の調査を通して、小学校第5学年から中学校第3学年までの学力の状況を継続的に把握できます。ただし、調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、本町の教育活動の一側面であることに留意し、単に数値のみに着目せず、様々な視点から子どもたちを評価することが重要です。

調査の概要

※出題範囲は、調査対象学年の前学年までの指導内容

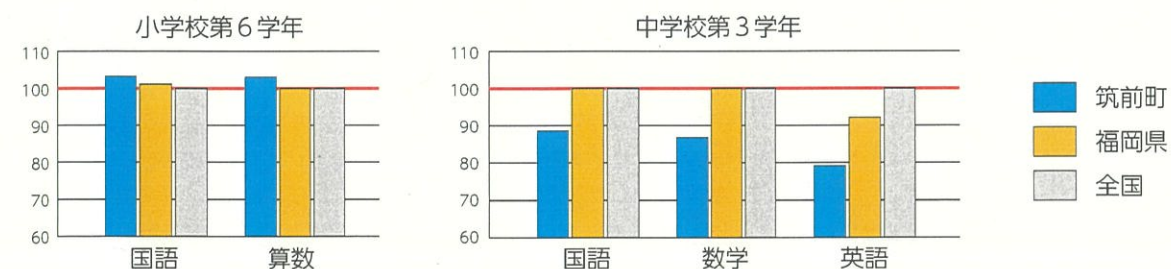
	全国学力・学習状況調査	福岡県学力調査
調査対象	小学校第6学年、中学校第3学年	小学校第5学年、中学校第1・2学年
調査内容	教科に関する調査（※） 国語、算数・数学、英語（英語は3年に1度実施）	教科に関する調査（※） 国語、算数・数学
	生活習慣や学習環境に関する質問紙調査 （児童生徒に対する調査、学校に対する調査）	—
調査実施日	4月18日☉	6月20日☉

調査結果の概要

①『全国学力・学習状況調査』

※グラフは、全国平均を100とした値

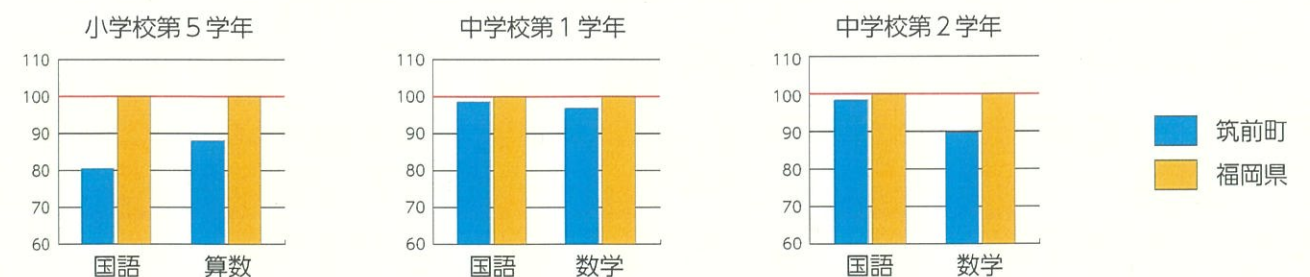
小学校は、国語、算数ともはじめて全国や県を上回った。中学校は、国語、数学、英語とも全国や県を下回った。



②『福岡県学力調査』

※グラフは、県平均を100とした値

小学校第5学年、中学校第1・2学年の国語と算数・数学とも県を下回った。



子どもたちの未来を拓く確かな学力の育成

○知識及び技能 ○思考力、判断力、表現力等 ○学びに向かう力、人間性等

【今後の取組】

- ・年度当初からの取組の強化
- ・調査結果を受け新しく導入した取組

学校の学力向上の取組

家庭・関係機関との連携

家庭学習の習慣化

- ・家庭学習強化週間の協働
- ・家庭での声掛け、確認、賞賛
- ・基本的な生活習慣の定着
- ・家庭でのAIドリルによる学習の習慣化

放課後学習の実施

- ・アフタースクールの充実
- ・CD層児童生徒の情報提供

授業づくり

誰一人取り残さない授業づくりの推進

- ◎ICTを効果的に活用した授業づくり
- 児童生徒による「授業評価アンケート」・教員による「授業チェックリスト」を活用した授業づくり
- 相手意識や目的意識を明確にした書く活動
 - ・「学びの足跡を自覚する」振り返り
 - ・「考えを明確にする」ための根拠や理由
- 子どもの見取りを重視した授業づくり
 - ・効果的な机間指導 ・補助教材の準備等
- 算数・数学科の各学年の系統性を意識した授業づくり
 - ・学力調査問題や高校入試問題を取り入れた練習問題の工夫

教員の意識・指導力の向上

◎校長のマネジメント強化

- ・学力向上の取組の進捗状況の把握
- ・データをもとにした検証サイクルの推進

◎町教職員研修（交流研修）の充実

- ・同校種及び異校種で授業公開や整理会の実施

校内研修の充実

- ・授業チェックリストを活用した校内研修の実施

日常的なOJTの推進

- ・ミドルリーダーの活用
- ・管理職等による授業チェックリストを活用した教室訪問及び事後の指導助言

個に応じた指導の充実

- ・CD層名簿作成
- ・関係職員のCD層児童生徒の把握
- ・CD層への補充学習
- ・AIドリルの活用

学力の基盤づくり

規範意識の育成

- ・児童会・生徒会活動の充実

自尊感情の醸成

- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動での活躍の場の設定

教育委員会の支援

各種調査結果の活用

- ・学力向上推進協議会及び実態分析部会の開催
- ・町全体の調査結果を分析
- ・関係施策の評価（成果と課題）
- ・改善の方向性を提示
- ・学校、地域への情報提供

研修会の充実による人材育成

- ・経験年数、教育課題に応じた町独自の教職員研修会の実施
- ・県外視察の成果の還元

マネジメントの強化

- ・学校の取組の確実な実施に向けた指導・助言
- ・授業力向上に向けた指導主事の授業参観

放課後学習の実施

- ・放課後アフタースクールの実施
- ・CD層児童生徒の情報共有と支援の充実

英語力向上事業の実施

- ・ALT 5名配置
- ・English Workshopの実施
- ・英検受験の補助（中学生）
- ・英語スピーチコンテスト開催
- ・外国語担当教員研修の実施

ICT活用支援

- ・ICT活用教育アドバイザーによる支援
- ・ICT支援員配置・AIドリルの効果的活用推進

筑前町「英語教育」グランドデザイン

筑前町教育委員会

児童生徒の英語力向上に向けて、日常の授業の充実を図るとともに、身に付けた英語力を試したり、新たな課題を設定したりすることができる体験の場を保障し、英語教育の充実を図る。

「英検対策」大作戦

過去問題や英検対策アプリを活用した勉強会の実施や家庭学習

英語検定受験費用補助

全中学生を対象に英語検定試験の受験費用を**全額補助**

「単語習得」大作戦

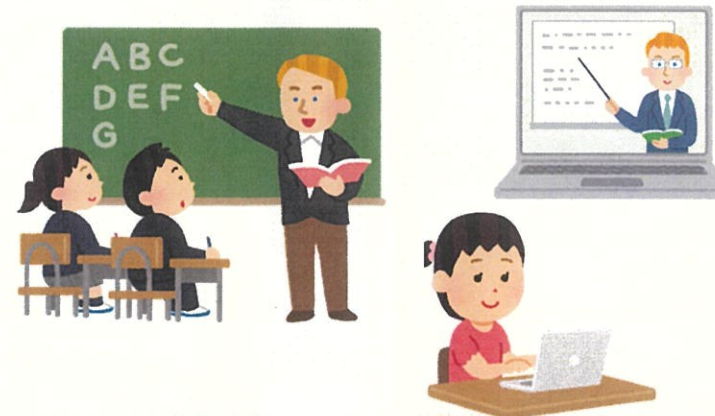
習得する単語一覧を配布し、家庭学習等の工夫、コンクールの実施

English Workshop

Welcome to Chikuzen Town	Let's go to APU	Let's go to 北九州英語村
留学生を招待し、校内で英語による交流活動を実施	留学生が通う大学を訪問し、英語による交流活動を実施	体験型施設英語村を訪問し、英語による体験活動を実施
小学6年生・全中学生	中学生希望者	中学1年生



授業の充実



英語スピーチコンテスト

全中学生

小学6年生



英語によるコミュニケーション能力を発揮し自分の考えを発表する



小学生は、英語に対する関心・意欲を高める

外国語指導力向上研修



中学校の全外国語教員を対象に月1回実施

ALTの配置



5名のALTを各学校に配置